

2025年1月19日（日）

本庄軽 ONE 耐久2025エキシビジョン

大会規則書

※車両規則は別紙

2024年12月7日掲載

本庄サーキット事務局

本庄軽 one 耐久2025エキシビジョン 開催規則書

本庄軽 One 耐久2025エキシビジョンは、本開催規約及び特別規則に従って開催される。

すべての参加者は諸規則を熟読、精通し遵守するとともに、オフィシャルの指示に従う義務を負うものとする。

【1】主催・開催場所・申込・お問合せ先

〒367 - 0224 埼玉県本庄市児玉町高柳 883 本庄サーキット軽耐久レース運営事務局

TEL:0495 - 72 - 9611 / FAX:0495 - 72 - 9612

【2】レース種別及び開催日

2025年1月19日(日) 3時間耐久レース

【3】エントリーフィー

一般・会社員 ￥34,000/1チーム(保険料別途￥500/1名)税込

専門及び大学生 ￥32,000/1チーム(保険料別途￥500/1名)税込

※保険は参加選手及びピットクルーの方も加入義務があります。参加選手の方には昼食付き。

専門及び大学生の区分は、参加メンバーの3分の2以上の方が学生であることとし、エントリー名には学校名を記載すること。両区分ともロールケージ装着車両は￥2,000/1台引き

【4】参加資格

普通自動車免許証の所持者及び、本庄サーキットのビジターライセンスもしくはメンバーライセンス所有者。

ライセンスの取得はフリー走行日の朝8:00もしくは昼12:00の講習を受講してください。

エントリー完了後、大会当日までの本庄サーキットのフリー走行日に講習を受講したドライバーに関しては新規入会者に限りビジターライセンス入会費用3,500円を免除とし、メンバーライセンス入会の場合

3,500円引きとする。またレース参加前に本庄サーキットの走行経験があること。

※ライセンス更新及び期限切れ再講習、大会当日の臨時講習はライセンス代免除にはなりませんのでご注意ください。大会当日の臨時講習は8時50分～9時10分頃に行います。

20歳未満のドライバーが参加する場合、

親権者の署名・捺印(実印)のある未成年者 競技参加承諾書を添えてお申込みください。

【5】募集台数・クラス分け・参加人数

募集台数 - 合計29台(先着)

① 軽 one クラス ② 軽 one 改造クラス

③ N-N Aクラス ④ N-N Bクラス(トゥデイ・ビート) ⑤ 学耐クラス

耐久クラスのドライバーは参加車両1台につき2名からとし、ピットクルー及びドライバー含め3名以上での参加を推奨とする。※同一ドライバーの他車へのダブルエントリーは認めない。

【6】参加受付

各大会1ヶ月前から1週間前必着。また、定数になり次第受付終了します。申込用紙、誓約書に漏れなく

記入捺印の上、参加料を添えて現金書留又は、軽 one 耐久事務局(サーキット窓口)までお早めにお持ち下さい。

※開催日の6日前までに申込書のご提出・参加費のお支払いがされていない場合には不受理とさせて頂く場合がございます。

【7】参加受理

本大会の参加申込みに際しての受理は、本大会事務局が発行する正式受理書をもって、参加を受け付けたものとします。（正式受理書の発行は申し込み期間終了後、メールにて発行されるものとします）

※メールアドレスは、必ずご記入ください。ご記入がない場合は、受理書は発送されませんので予めご了承下さい。

本大会事務局は参加申込みの個人又はチームに対して、理由を明かすことなく参加を拒否することが出来るものとします。

【8】中止延期・エントリー費の返金

主催が危険と判断した場合及び、様々な要因でタイムスケジュールに遅れが出た場合は、中止もしくは延期、タイムスケジュールの短縮を行う場合があります。尚、悪天候による中止・天災による施設使用が困難な場合の中止にかぎりエントリーフィーから¥1,000（事務手数料）を差し引いて返却致します。エントリー受理後のキャンセルについては大会日から1週間前までは¥1,000（事務手数料）を差し引いて返却いたします。1週間を切ったからの参加者理由による返却は行いません。

【9】厳守事項

1. 全てにおいて、時間厳守とします。タイムスケジュールに遅れるチームは走行をお断りする場合があります。
やむを得ない事情等により、朝の受付時間に間に合わない場合は受付終了前に事務局までご連絡ください。
(連絡なき場合は出場を辞退したものとみなします)
2. ドライバーズミーティングは必ずドライバー全員が参加してください。
3. 参加ドライバー&チームは、チーム代表者を参加申込書に明記し、アナウンスによる呼び出し等が行われた場合は速やかに対応できる体制を取って下さい。
また、メインポストからのペナルティー等に対しても、チーム代表者は速やかに対応してください。
4. 大会規則の遵守 全ての参加者は大会規則書の熟読・理解し規則を遵守すること
(疑問のある場合はドライバーズブリーフィングで速やかに質問し、走行前に確認すること)

【10】ゼッケン

ゼッケンは主催者側で決定し、当日の車両検査終了時にゼッケンを配布します。
配布されたゼッケンを参加車両の左右のドア部分に貼り付けてください。
ゼッケンは走行開始から終了まで、脱落することなく必ず保持してください。

【11】走行時服装規定

参加ドライバーはヘルメット（JIS規格C種以上が望ましい）及びレーシンググローブ（指先まで覆うもの）が必須。服装はレーシングスーツ・レーシングシューズが望ましいが、上下の繋がった長袖・長ズボンの作業ツナギ（なるべく燃えにくく丈夫な素材が望ましい）及び、運動靴での参加も可。長袖Tシャツ・Gパン・ジャージ・スウェット等での走行は不可とする。

【12】車検

1. 車検開始時間までに車検を受けられる状態(車両は走行する状態でフロントタイヤを両輪浮かせ、ヘルメットを車両の上に置く)に準備をしておいて下さい。
2. 車検員が検査に来た時点で車検が出来ない状態ではなかった場合は、他車の検査が終わり次第再検査となります。(その場合、車検時間内に検査が終わらずに走行開始時間となってしまった場合の対応は行ないません。)
3. **車検終了時にゼッケンを配布します。ゼッケン取付位置はボディ両サイドのドア付近とする。**

【13】賞典

- ① 軽 one クラス ② 軽 one 改造クラス
③ N-N Aクラス ④ N-N Bクラス (トゥデイ・ビート) ⑤ 学耐クラス
各クラスの出走台数により1～3位までとする。

出走台数	1～3台	4～5台	6台～
章典	1位まで	2位まで	3位まで

【14】参加走行規定

1. 決勝グリッド

決勝のスターティンググリッドは予選走行にて決定します(クラス分け関係なくベストタイム順となります)

2. 決勝スタート方式

スタート方法は、セーフティーカー先導によるローリングスタート。セーフティーカーを先頭にフォーメーションラップを開始。隊列が整ったところでセーフティーカーがピットイン。フォーメーションラップ中は、前の車両との間隔を極力詰めること。ブリジストンゲートで振る日章旗を合図にレーススタートとします。**セーフティーカーがピットイン後もスタートライン(ブリジストンゲート)手前は追い越し禁止です。**グリッド整列終了時刻までに整列できない車両はピットスタートになりますので、オフィシャルの指示に従ってください。

※ポールポジションおよびセカンドポジションの車両は、先導のセーフティーカーとの間隔を車両2～3台分程度をキープし、それ以上間隔を開けずにフォーメーションラップを行うこと。

スタート合図の日章旗が振られる前の加速、またブリジストンゲート手前での他車の追い越し、隊列をみだす行為をしたとみなされる車両はペナルティー対象とする。

※ピットスタートは、3分間のピットストップ後にスタート

3. 走行中の運転席側窓は全閉(もしくはウインドウネットの装着)で、ドアロックは開錠した状態にする事。
4. ピットイン&ピットアウトは後続車に分かるようにウインカーで合図する事。急激な進路変更は禁止とする。
5. コースアウト

コースアウトなどにより本コースに復帰(オフィシャルの引き上げが必要)できない場合は、ハザードを点灯し車の中で待機すること。**※車両火災時を除く**

セーフティーカー介入後(場合によってはレッドフラッグにて走行中断)オフィシャルが迅速に車両引き上げに向かいます。オフィシャルが到着したら、ドライバーは速やかにオフィシャルの指示に従い車両を本コースに復帰後、一旦パドックに戻り、オフィシャルによる再検査(車両点検)を受けた後、再スタートを切ることができます。

6. セーフティーカー先導ラップ

走行に支障をきたす事故・車両回収がコース上で発生した場合は、フラッグポストより黄旗+S Cボードを提示しセーフティーカーを介入します。

黄旗+S Cボードの前を通過した車両は追い越し禁止、1列になり隊列を整えセーフティーカーの後ろに続いて下さい。

セーフティーカーの後ろについた先頭の参加車両は、先導のセーフティーカーとの間隔を車両2～3台分程度をキープし、それ以上間隔を開けずにフォーメーションラップを行うこと。

セーフティーカーがコースに入っている間、黄旗+S Cボード前を通過していない車両はピットイン可能です。1度でも黄旗+S Cボードの前を通過した車両はピットイン不可となります。

S Cボードが出ているタイミングでピットインをしていた車両は、コースインのタイミングはコース入口に居るオフィシャルが誘導を行いますので指示に従って下さい。

コースの処理が終わり次第、先頭のセーフティーカーがコース出口からピットインをし、その週のブリヂストンゲートからレース再開となります。※メインポストにて緑旗が提示されます。セーフティーカーがピットイン後もスタートライン（ブリヂストンゲート）手前は追い越し禁止です。

また、セーフティーカーがピットに入った周と同時にピットインする事は禁止です(ピットスルー対象)
レース再開の合図の緑旗が振られる前の加速、またブリヂストンゲート手前で他の車の追い越し、隊列をみだす行為をしたとみなされる車両はペナルティー対象とする。

7. ピットロード

ピットロード及びパドックはリバースギアの使用を禁止し、**減速ライン～加速ライン間のピットロード速度は最徐行(別紙のパドック図に記載)**。また、シートベルトは外さずに走行すること。

※ピットロード速度を違反をしたとオフィシャルが判断した場合、**初回はオフィシャルよりチーム員へ警告を行います。2回目以降の違反についてはピットスルーペナルティーの対象とする。**

また、ドライバー交換等を含む決勝中のピット作業の際は、必ずエンジンを停止すること。エンジンの押しがけ及び走行補助等の行為は禁止とする。

8. ドライバーチェンジ

同一ドライバーの連続走行時間に制限はありませんが、**ドライバーチェンジの回数は5回以上とする。**なお、ドライバー交代場所でのピット作業は全て禁止とする。（エアチェックや冷却など）もしピット作業をする場合は1度コースイン後に再度ピットインをし、各自のパドックで行うこと。その際のドライバー交代は不可とする。（ドライバー交代場所からパドックへの侵入は不可）

※悪天候やその他の原因でレースが途中で中断した場合のドライバー交代回数に関して
レースが中断しそのまま終了した場合、残りの規定回数によるペナルティーは無しとする。
レースが再開した場合、残り時間を考慮して規定回数を下記の通り減算とする。
(中断時間30分につき1回減算 例：1時間中断した場合2回減算)

9. タイヤ交換

決勝レース開始前のタイヤ交換は可とする。

決勝レース中はバーストなど予期せぬ状態に限り交換は可とするが、オフィシャル立ち合いのもと作業を行い、**10分間のピットストップ（この間のタイヤ交換の作業は可）を行う事とする。**

10. パドック・ピット内

競技車両のパドック内でのバックギアの使用は禁止とする。バックをする場合は、必ず手押しをすること。

※コース内でのクラッシュ・スピン発生時におけるコース復帰の際のリバースギアの使用は可とするが、周りの車両を良く確認し、他車へ接触等を起こさない様に十分注意をする事。

11. クラッシュ時について

クラッシュをした際にオフィシャルが車両の確認や修復が必要だと判断した場合は
ピットイン及び各チームのパドックエリアにて車両の確認が必要となります。

※なお、セーフティーカーが出る原因を作ったチームについては、車両の状態にかかわらず必ず各チームのパドックエリアに戻り車両の確認を行わなければならない事とする。

【15】給油

決勝レース中の給油は無しとする。決勝レース開始前の給油は可。

なお決勝中の燃料切れによるコース内での停止は10分間のピットストップペナルティーとし、
ペナルティストップ時間が終了後に、オフィシャル立ち合いのもとガソリンの給油を行い再スタートとなる。

【16】計時・順位の認定

計時はサーキットの自動計測装置を用いて行う。耐久レース終了後は、先頭車両がスタートから規定走行時間経過後にスタートラインを通過しチェッカーフラッグが振られ、スタートラインを通過した車両からレース終了となります。順位については終了時点の周回数により決定する。

但し、同一周回数の場合は先にスタートラインを通過した順とする。

計測器（トランスポンダー）本体をレース中に脱落（自車のクラッシュや他車からの接触が原因の場合も含む）させてしまった場合には使用している各チームの責任とし、その時点でのレース結果（DNF）とする。
計測器破損時は50,000円のご請求となります。

【17】レース成立・不成立

耐久レース中に著しい悪天候又はトラブルにより競技の続行が不可能と競技長が判断した時は下記の対処となります。 **※競技時間の50%～成立とする。**

また、レッドフラッグによって途中中断した場合で、再スタートする場合には計時を終了した時点の順位（レッドフラッグの提示前の周回）を再スタートの順位とする。

また、再スタート終了後、結果に中断前レースの周回数のみ加算し総合順位とする。

【18】完走

チェッカーフラッグを受けたものを完走として認める。 **※未完走場合は順位は繰り下げとする（DNF）**

【19】クレームについて

様々なクレームに対しては、チーム代表者署名・捺印・抗議理由を記入した文書のもと、チェッカー後20分以内にクレーム申請料¥30,000を添えて、受付事務局へ提出してください。尚、クレームが成立した場合は申請料¥30,000は返却致します。

※口頭でのクレーム、チェッカー後20分以上経過後のクレームは一切受け付けないものとする。

【20】諸注意

- ・ **接触があった場合は、当事者同士、走行後確認し、声を掛けをお願いします。**
- ・ **走行時に後方の車両に進路を譲る場合は、自車がよける方向へウインカーで合図をして下さい。**
- ・ コース内やクラッシュパッド上など、危険箇所への立ち入りを禁じます。
- ・ **火気厳禁 ※パドック内は禁煙です。喫煙は受付事務所の隣にある喫煙スペースでお願いします。**

- ・ 小さなお子様をお連れの場合は目を離さず、手を繋ぐなどして目を離さないようにお願いします。
又、ペットをお連れの場合はリードを必ずお付け下さい。
- ・ サービスカーは1チームに対し1台のみパドック内に駐車可能です。

【21】ペナルティー

違反者に対し、黒旗と当該車両のゼッケンがメインポストから提示される。

当該車両はピットに戻り、オフィシャルの指示に従い、指定エリアに停止すること。

ペナルティストップの時間は、違反の軽重に基づき決定される。

なお、下記はペナルティー一覧の例とする。

- ・ 受付・車検時間の終了に間に合わなかった場合 ⇒ 決勝レース開始時 ピットスタート
- ・ 予選走行を走行出来なかった場合 ⇒ 決勝レース開始時 ピットスタート
- ・ **車両規則違反 ⇒ 程度に応じて決勝レースより周回数の減算または賞典外** (※出走を認めない場合もあり)
- ・ レース中の危険行為・マナー違反 (不必要な威嚇行為や露骨な挑発行為等)
- ・ 他車への激しい追突など ⇒ ピットスルーもしくはピットストップ (程度に応じて1分～)
- ・ 車両横転時 ⇒ 車両の程度に関わらずリタイヤ扱いとする。
- ・ 決勝レーススタート合図の日章旗及び、フォーメーションラップ時のレース再開の合図の緑旗が振られる前の加速、またブリジストンゲート手前での他車の追い越し、隊列をみだす行為をした場合
⇒ ピットスルーペナルティー
- ・ 暴言・恫喝
運営スタッフ及びオフィシャル等に暴言や恫喝を行った場合、即時の大会記録の抹消、及び退場となります。
合わせて警察に通報し、以後の対応は警察となります。
- ・ **コース及びパドックエリア、ピットロードでの逆走は禁止とし、違反行為を行った場合はレース失格とする。**
- ・ 下記写真位置のピットアウト出口にあるイエローラインをまたいでの走行は禁止とする。
違反行為を行ったとオフィシャルが判断した場合にはピットスルーペナルティーとする。



【22】クラッシュ共済

当サーキットの施設等を破損してしまった場合、破損してしまった個人の全額負担とする。

そのための保険として任意でクラッシュ共済に加入することができる。

1口3,000円 最大6口まで加入可能。

1口あたり25,000円までガードレールやクラッシュパッドの交換費用を保障。

加入は当日の走行開始前までとし、チームでの加入のみとする。

加入希望チームは当日、受付時に代表者が別紙に記入。その場で提出し共済代を支払うこと。

【23】フラッグ（旗）・シグナルの説明

フラッグはサーキットを走る上で、重要なルールとなります。フラッグの意味を理解した上で、見落とし等のないように走行願います。

本大会では、フラッグの一部が通常の意味と異なる使用法となりますのでご注意ください。

黄旗→危険箇所の発生あり。

危険回避出来る状態で走行してください。

黄旗＋SCボード→ペースカーの介入。全車追い越し禁止

ペースカーから指示のある場合は、指示に従い安全な速度で速やかに隊列の最後尾に着いてください。

赤旗→走行中断。追い越し禁止

オフィシャルの指示がない限りコース上での停止を一切禁ずる。基本的に決勝中は使用しませんがやむを得ない場合（悪天候によるレース中断等）に限り使用します。

緑旗→先に出した合図の解除（コースクリア）

黒旗→ピットイン命令。

非スポーツマンシップ的行為や、人為的危険のあるペナルティの対象車輛に対してのピットイン命令。改善できる場合のみ、オフィシャルの指示に従いコースインできる。但し競技長の判断により、度重なる黒旗指示を受けた場合は失格とする（同じ理由のペナルティを2度受けた場合等）

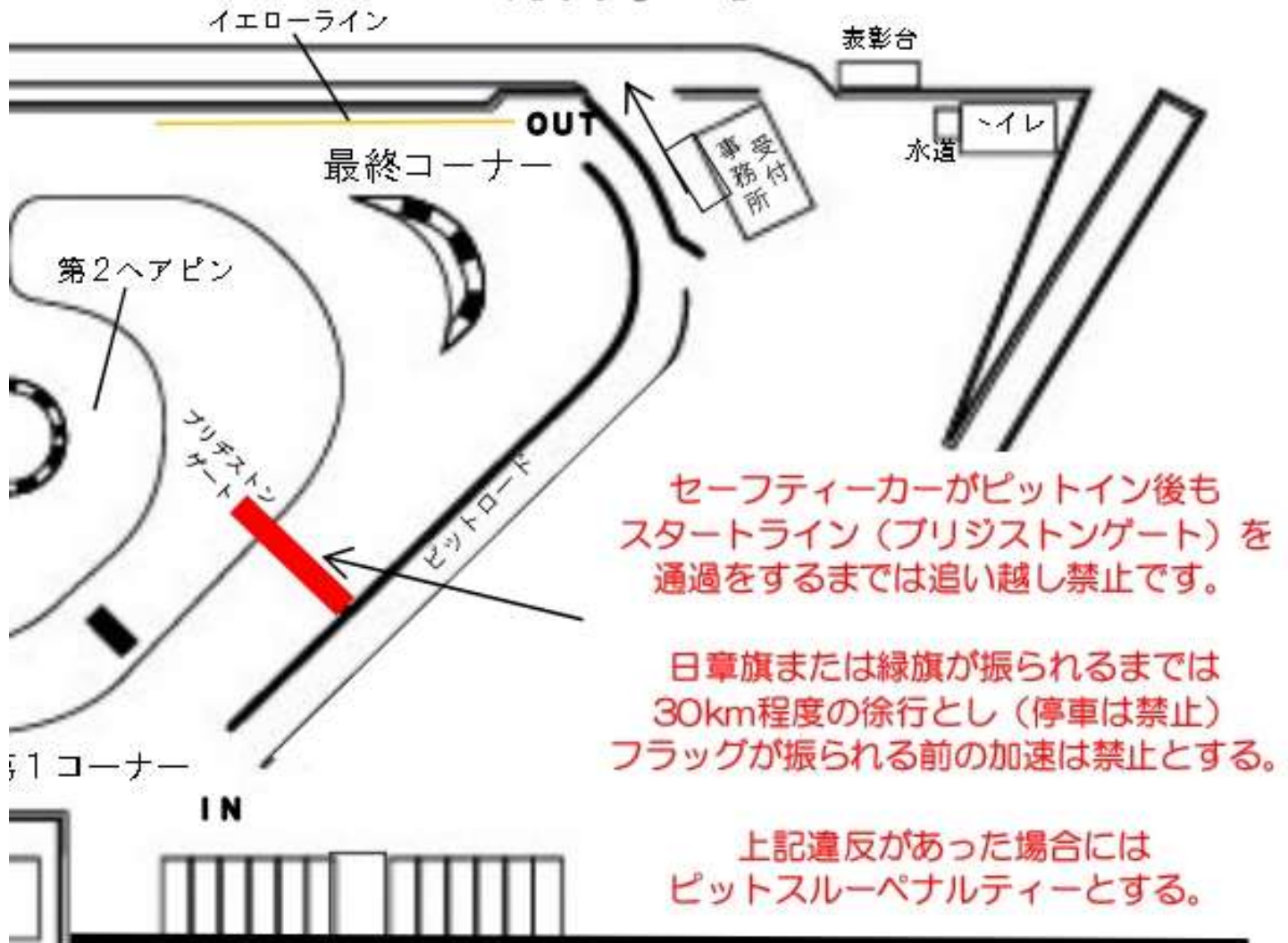
日章旗→レーススタートの合図

チェッカーフラッグ→走行終了又は競技の終了。

【24】スペアカーの使用について

スペアカー（Tカー）の使用は可とする。ただし、車両変更は決勝レースの開始前までとし、1度変更した場合には賞典外扱いでの出走とする。また車両変更を行う場合は、必ず出走前に再車検を受ける事とする。

レーススタート時及び SCボード解除時について



【26】ピットロード・パドック内について（ピットスルーペナルティー時の補足）

